

道徳の時間学習指導案

授業者 田村 麗子

- 1 学年 第3・4学年
- 2 主題名 集団や社会の決まり (4-1 公徳心, 規則の尊重)
- 3 資料名 「雨のバス停留所で」(「わたしたちの道徳 小学校3・4年」)
- 4 ねらい 約束やきまりが必要な理由を考え, 進んでこれを守ろうとする態度を育てる。
- 5 本時の展開

	学習活動	主な発問(○)と予想される児童の反応(・) (◎中心発問)	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導 入	1 本時の学習課題をつかむ。	○身の回りには, どんな約束やきまりがありますか。また, どうしてそのきまりがあるのでしょうか。 ・時間を守って行動する。みんなに迷惑をかけるため。 ・廊下は走らない。ケガをさせないため。	・約束やきまりについて振り返ることで, 本時の学習への方向づけを図る。
展 開	2 資料「雨のバス停留所で」を聞き, 話の流れをつかむ。 3 エキスパート活動に取り組む。	<p>A 【よし子の思い】</p> <p>①バスが見えた時, よし子がバス停の先頭に駆け出したのはどんな思いからだったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く乗って空いている所に座りたい。 ・みんな並んでいないから1番に乗ってもいい。 <p>②ほらごらんなさいとお母さんの顔を見上げたよし子はどんな思いでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おかあさんが私を引っ張ったから座れなかった。 ・1番に乗ったら座れたのに。 	・話の概要をつかませ, 各グループに分かれて自分達で考えることができるようにする。 ・限られた時間の中で, 話し合いが進むように声かけをする。 ・児童同士の関わり合いを重視する。

		<p>B 【お母さんの思い】</p> <p>①よし子を引き戻したのはどんな考えからでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先に来て待っていた人がいるんだから、1番に乗るのはおかしい。 ・このままほっておいたら、よし子は常識のない子になってしまう。 <p>②どのようなことを考えながら窓の外をじっと見ているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よし子に恥ずかしい思いをさせたけど、ちゃんときまりが守れる子に育てほしい。 <p>C 【バスを待っているお客さんの思い】</p> <p>①軒下で雨宿りをしているとき、どのような気持ちで待っていたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨がひどいから早くバスがくればいいのに。 <p>②よし子が駆け出したのを見て、どのようなことを思ったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常識のない子だ。早く来て待っていた人がいるんだから、順番を抜かさないとほしい。 	
4	ジグソー活動に取り組む。	○エキスパート資料について報告をし、交流で得られたことを生かして、よし子が考え始めたことについて意見をまとめましょう。	・各資料の報告だけでなくお互いに質問をしながら話し合いをさせる。
	5	クロストークをする。	・児童の意見を生かし、話し合いをコーディネートしていく。
終末	6	学習のまとめと振り返りをする。	○約束やきまりがある理由を考え、本時の授業の振り返りをしましょう。
		○家に帰ってわたしたちの道徳 P119 をお家の人と考えてみましょう。	☆きまりを守ることについて、これからどうしたいか考えることができる。